
大人のための異文童話集 7 もう一度...、星に願いを

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集7 もう一度…、星に願いを

【Nコード】

N9751L

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

やつと人間になれたピノッキオ。だけどそこにはもう、ゼペットおじいさんも、ジミニイも、女神さまもない。

ひとりぼっちのピノッキオ少年は、まだまだ知らないことが多くて、苦悩する毎日だったのです。

そしてもう一度、星にお願いをしたのです。そのお願いとは…。

ボクはようやく、こうして人間のカラダを手に入れた。
やっと人間の…少年になれたんだ。

でもね、今はもう、ゼペットおじいさんも居なくなつて、女神様の姿も見られなくなつちやつたんだ。

ボクが人間になつて分かったこと…。

それは人間というのはみんな、いつか死んじゃうと言つことなんだ。
ボクがまだ木のカラダだった時、ゼペットおじいさんが作った沢山のお人形たちは、どんなに長い時が経つてもいても、おじいさんがちよちよいとつつつくと、みんな元気になつていた。

だけど、ゼペットおじいさんが亡くなる時に、ボクにはそんなちよちよいができなかった。

ううん、ボクだけじゃない。

お医者さんという偉い人にだつて、ちよちよいはできなかったんだ。

それなのに、この地上のいろいろな場所では、簡単に人を殺したり死なせたりしている。

一日の食べ物にもありつけず、学ぶことすら出来ない子供たち。

文化とか文明という名のもとに、飽食に溺れてこの地球を喰いつくす大人たち。

もしも神様がいるのなら、どうして人を分けてしまったのだろうか？

ボクは心から問いかける。

神様はいつたい何を望んでいるのですか？

ボクたち人間が手に手を取って、この星に愛を蒔いて行くことではないの？

もしそうなら…ボクに人殺しの武器はいりません、ボクに進んだ文化はいりません。

そんなものよりもっと、ボクに愛というものをわからせてください。

ボクはボクを作ってくれて、いつもいろいろと心配してくれて、とても優しくしてくれた、ゼペットおじいさんが大好きだった。それなのにボクは、おじいさんに何もしてあげられないままで、おじいさんは死んじゃった。

ボクは、いつでもそつと見守ってくれて、ボクが人間として進む道を教えてくれて、こんなボクを人間にしてくれた、ジミニイや女神様が大好きだった。

それなのにボクが人間になると、ジミニイも女神様も姿も見せてくれなくなった。

こんなに好きなのに、おじいさんもジミニイも女神様もいなくなつた。

ボクは人間のことをいろいろと考えるけど、いつもひとりぼっちで、愛というものをどうすればいいのか解らない。

暗く深い空を見上げては少年はそう言って、その幼い頬を涙に染めてそつと手を合わせ、小さく弱く輝くあの星に、一生懸命に願っていたのです。

女神様、もう一度ボクのところに現れてよ。

もう…、死んじゃったおじいさんを返してなんて言わないから。
ほら…、ボクの鼻、もう伸びることなんてないよ。

ボクはもう、ちゃんと人間になってるんだ…、でも苦しいよ。

人間ってどうしてこんなに身勝手なの？ わがままなの？ そして
優しくなるうとするの？

ボクには全然解らないよ。

女神様、ボクは今でもキミのことが大好きなんだ。
ボクの傍に来て、ボクに愛というものを教えてよ。

そんな苦悩に満ちた少年を哀れに思ったのか、それまで小さく輝い
ていた星は、一瞬強い煌きを放ったのでした。

するとどうでしょう。

少年のカラダは見る見る間に、木のカラダへと変っていったのです。

「ピノッキオ、ごめんなさいね。」

「あなたを人間にするには、まだ早かったようです。」

「もう少し…、私はあなたの傍にいて、あなたに愛を教えてあげま
しょう。」

「あなたが神様の望むような、慈愛に溢れた立派な大人の人間となれ
るように…。」

そのような声が聞こえて来ると、強く煌めいた星は女神様に姿を変
えて、ピノッキオの傍へと舞い降りて来たのでした。

（後書き）

BGMには蛍ちゃんの“ガラクタ”でも聴いて欲しいですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9751/>

大人のための異文童話集7 もう一度...、星に願いを

2010年10月12日02時01分発行